

学びのR

No. 52 (令和4年3月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

*** 「指導と評価の一体化」で授業改善 *** ～ 「社会科」(中学校)編～

*今回は、「指導と評価の一体化」の視点から、中学校における「社会科の学習過程」、「内容のまとめりごとの評価規準」、「主体的に学習に取り組む態度の評価」について整理していきます。

社会(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)の学習過程～単元における工夫～

[P24]、[P41～42]

H28教育課程部会WG資料14

資質・能力をバランスよく育成するためには、生徒自らが課題を追究したり解決したりする活動を一層充実させながら、『知識及び技能』を習得・活用して思考・判断・表現しながら課題を解決する学習の充実が求められます。

課題把握(つかむ)		課題追及(調べる)		課題解決(まとめる)		新たな課題
動機づけ	方向づけ	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
・学習課題を設定する。	・課題解決の見通しを持つ。	・予想や仮説の検証に向けて調べる。	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。 ・社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。	・考察した事や構想したことをまとめる。	・学習を振り返って考察する。	※学習成果を生かし、新たな問い(課題)を見出したり追究したりする。

学習を進めていくうえで留意すべきこと

- 上記の例だけに限定されるものではない。
- 学習活動のつながりと学びの広がり(主体的な学び、対話的な学び、深い学び)を意図した、単元構成の工夫が望まれる。
- 社会的事象等については、生徒が特色や相互の関連を多面的・多角的に考察して事実を客観的に捉え、公正に判断することを妨げることのないよう留意し、客観的かつ公正な資料に基づいて指導すること。また、多面的・多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習を一層重視すること。

この学習場面において、「内容のまとめり」とは(C日本の様々な地域(3)「日本の諸地域」)を指していて、「小項目」とは日本の諸地域の中の「中国・四国地方」を指しています。

「内容のまとめりごとの評価規準」作成(例)

地理的分野(2)内容(C日本の様々な地域(3)「日本の諸地域」)『中国・四国地方』

[P27, 31, 39]

[P45]

内容のまとめりごとの評価規準例	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・①～⑤までの考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

★各学校において内容のまとめりを基に、年間指導計画作成時に「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。単元ごとの評価規準も同時に作成したり、内容のまとめりごとの評価規準と関連づけたりしながら作成することが必要です。

「内容のまとめりごと」の評価規準から
単元(小項目)の評価規準作成へ



埼玉県マスコット コバトン

単元ごとの評価規準例	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方において、人口や都市・村落を中核に設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

※「技能」については、学習指導要領の「内容のまとめり(中項目まで)」に記載のあるもののみ、評価項目として表します。

「知識」は生徒が「…理解している」かどうかの学習状況として表す。

「思考・判断・表現」は生徒が「…考察(構想)し、表現している」かどうかの学習状況として表す。

学習指導要領「2 内容」に「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項が示されていないので、「分野別の評価の観点及びその趣旨」における「主体的に学習に取り組む態度」をもとに評価規準を作成する。

課題づくりのために ～教師の資料提示と発問についての工夫～

[P50]

《歴史 P7》

☆ 資料の活用を促すには、適切な機会を設けるとともに、ICT等を活用して生徒自身が調べ、考察し、理解できるように **教師の資料提示の仕方**と**課題づくりへの発問の仕方**が必要です。

教師「今説明したことは、この資料からわかりますね。」
「資料を見てください。このように〇〇ですね。」

転換!

教師「この資料からわかることは何でしょうか。」
「2つの資料からどんなことが言えるでしょうか。」

教師が説明することがらを生徒に示す。

⇒**教師の文脈のまま進行**する。

※生徒による問題意識・課題意識が生まれにくい。

資料から生徒が見出せる課題について、**教師がその後の展開まで考えて生徒に資料を示す。**

⇒**生徒の文脈・思考で進行**する。

◎資料との対話が生まれ、「**考察し理解**」「**資料を活用**」するプロセスが存在することで、**結果的に知識が身に付く!**

「主体的に学習に取り組む態度」の評価について ～各分野の考え方～

[P9] [P43]

《地理 P10》《公民 P17》

《歴史 P16, 22》

☆ 主体的に学習に取り組む態度とは… ～中教審教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)P10」～
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意図的な側面を評価します。

□歴史的分野・地理的分野における評価

「知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面」「粘り強い取組を行う中で、自ら学習を調整しようとする側面」を統合的に評価する。

・単元や題材を通じたまとまりの中で、生徒が見通しをもって学習に取り組む、その学習を振り返る場面を設定することが大切です。

・**学習に対する粘り強さや積極性といった児童生徒の取組のみを承認・肯定するだけでなく、学習改善に向かって自らの学習を調整しようとしているかどうか**を含めて評価することが必要です。

・教師は学習後の一つの感想や記述のみで評価するのではなく、生徒自身継続的に記述した記録を活用するなど、生徒自身が学習を振り返ることができる材料を工夫することが大切です。

■公民的分野における評価①

『自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組む状況』について

単元末で、単元の始めに立てた見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすこととして見いだした内容により評価する。

【注意】**公民的分野は、目標(3)が地理・歴史とは異なり、「現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う」ことを目指しているため、「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準も異なります。**

・単元の始めに見通しを立てさせて進めることが大切です。
→『問い(単元を貫く学習課題)に対する答えを予想させる』
→『解決すべき疑問を考えて記述させる』

◆公民的分野における評価②

『主体的に社会にかかわろうとする態度』について

単元の学習後も関心を持って自ら追究し続けたい、解決、改善を図っていきたいこととして見いだした、問いの内容とその社会的意義の記述によって評価する。

・単元の途中で「**学習改善につなげる評価**」を行い、教師が適切に指導します。
・単元の学習を振り返る時間をしっかりつくります。

参考「中学校学習指導要領解説 社会編」 文部科学省 … 引用したページは【 】
「中学校各教科等教育課程研究協議会 中学校 社会 PP 資料」文部科学省 … 引用したページは《 》
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会
国立教育政策研究所 教育課程研究センター … 引用したページは []
「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」埼玉県教育委員会 … 引用したページは []



「学びのR」
はこちらからも
御覧いただけます!

